

## サマーコンサート

### 1 サマーコンサートの歴史

サマーコンサートは、2011年に開催された「東日本大震災チャリティーコンサート」が発端となり、翌年にも同じ名称・趣旨で行われた。なお、このコンサートは、演奏を通じて貢献したいという山響の思いに、山陽小野田市が応えたものであり、収益は被災地に送られ山響はボランティア出演であった。

チャリティーコンサートは2年で終了したが、その後も演奏会を希望する山陽小野田市が委託料（20万円）を支出し、継続されることとなり、名称も「サマーコンサート」に改められた。その後、2019年に委託料は40万円に引き上げられ、現在に続いている。

気軽に楽しめるコンサートをコンセプトに名曲やポピュラーを選曲し、楽器体験、指揮者体験の機会も設けている。

### 2 財政面から見たサマーコンサート

サマーコンサートに係る経費は、指揮者・賛助出演者経費、楽譜購入費等である。最初の2年間はチャリティーであったため、すべて山響の持ち出しとなっていた。委託料をいただくようになってからは、その範囲内で収まるように努めている。

#### サマーコンサートの収支

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021
収入	200,000	200,000	230,000	230,000	230,000	400,000	400,000
支出	167,428	162,160	250,000	226,578	229,260	385,360	292,975
(内訳)	指揮者謝金 150,000 宿泊費 11,640 雑費 5,788	指揮者謝金 150,000 賛助謝金 10,000 楽譜 2,160	指揮者謝金 200,000 賛助謝金 50,000	指揮者謝金 200,000 宿泊費 6,480 楽器借用 10,000 楽器購入 10,098	指揮者謝金 100,000 ソリスト謝金 100,000 賛助謝金 10,000 宿泊費 19,260	指揮者謝金 220,000 賛助謝金 70,000 宿泊費 28,360 ハーブ借用 67,000	指揮者謝金 220,000 賛助謝金 50,000 宿泊費 14,340 雑費 8,635
差額	32,572	37,840	▲20,000	3,422	740	14,640	107,025

※練習経費（会場費、トレーナー謝金）は、定期と分けづらく計上していない。

※2020年は、コロナ感染症拡大の影響で中止となった。

### 3 まとめ

定期演奏会を年1回しか開催しない山響にとって、サマーコンサートは大切な演奏機会である。また、山陽小野田市が主催者であるため、チケット販売などの運営面から解放されるため演奏に専念できるメリットも大きい。選曲面においては、希望があっても定期では取り上げづらい曲や、ポピュラーが演奏でき、急な依頼演奏があっても対応が可能となる。

財政面では大きなメリットはないが、収支のバランスをとる中で内容の充実を図り、今後も継続したい事業であると考えている。

（事務局長 桑原洋一）